



人と人を結ぶ、生命を結ぶ
ほしのいえ

「路上生活の方は百五十人程います」

ほしのいえは、平成三年に中村訓子さん等二人のカトリック修道女が発起人となって立ち上げました。山谷地域の社会的に不利な立場に置かれた人々の支援活動を行っています。寄付金のみで運営しています。

「毎週火曜日、四百個のおにぎりと味噌汁を持って夜回りしています」

皆で握ったおにぎりを午後八時から九時半まで十〜十五名のスタッフが山谷地区四ヶ所を回って配布しています。食べた後のゴミの回収も行い、地域との共存を図っています。

路上生活者は高齢者がほとんどです。高度成長期に日本を支えた人たちです。今は高齢となり働く場所もなく、支えてもらう手立てが判らない。ほしのいえのスタッフは、配布しながら声かけして悩みや相談を吸い上げ、病院の手配や生活保護の受給など行政や団体と連携しています。

「生きていた証の名簿です」

七十七人の亡くなられた方の名簿が

部屋に貼られていました。二十代の方も女性の名前もありました。ほしのいえに繋がりを持ったことで無縁仏にならぬにきちんと火葬され、お寺に納骨されています。もう少しここに居させてあげたいと納骨先が決まっている二人の方の遺骨と笑顔の写真が飾られてありました。亡くなられても、ほしのいえに居場所があります。「涼ませて」と一人の男性が入って来られ、静かにテレビを見ていました。

「一人の人間として尊厳を尊重して自立と回復を」

普通と言われる社会に入ることのできなかった方の生きづらさを理解して「わたし」が「わたしたち」となる事は、相手を確認することです。心の段差を失くして穏やかな気持ちになれるのではと思いましたが、中村さんには、固くなった旅人の心を溶かす太陽の温かさがありました。

ほしのいえは、火曜、木曜、土曜の午後一時〜四時までドアを開けて誰でも入ることが出来ます。

火曜日の午後一時からは、おにぎりやお味噌汁作りをしています。出来る時にお手伝いして頂けると助かります。

木曜、土曜は押し花ハガキやカード作りもできます。福祉の相談も対応



ほしのいえ

荒川区南千住1-39-3

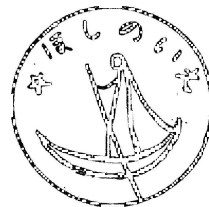
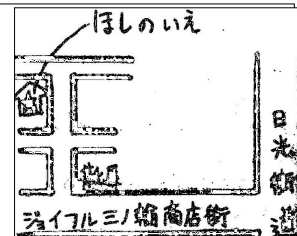
☎3805-6237(火・木・土の午後のみ) 携帯090-8106-3256(中村さん)

◇物資提供受付(ご連絡下さい)

柔らかい梅干・米・だしの素・焼き海苔・味噌・わかめ・煮干し・お米券・缶詰・インスタント食品・保存食・アルミホイル・ラップ・30ℓか45ℓゴミ袋・タオル・石鹼・洗剤・男性用下着(新品)靴下(新品)・はがき・未使用切手等

◇寄付金受付 口座名義:ほしのいえ

郵便振替口座 00170-2-556971



しています。新たな出会いと発見があります。おしゃべりだけでも、ふらっと優しい空間に顔出してみませんか。